

乳幼児期のう蝕罹患状況について

1 3歳児乳幼児健康診査（歯科）の状況について

(1) 概要

横浜市子ども・子育て支援事業計画では、指標として3歳児でむし歯のない者の割合を90%以上に維持(向上)するよう目標設定しています。令和3年(1月から12月)の3歳児乳幼児健康診査(歯科)では、むし歯のない者の割合は90%を上回っています。

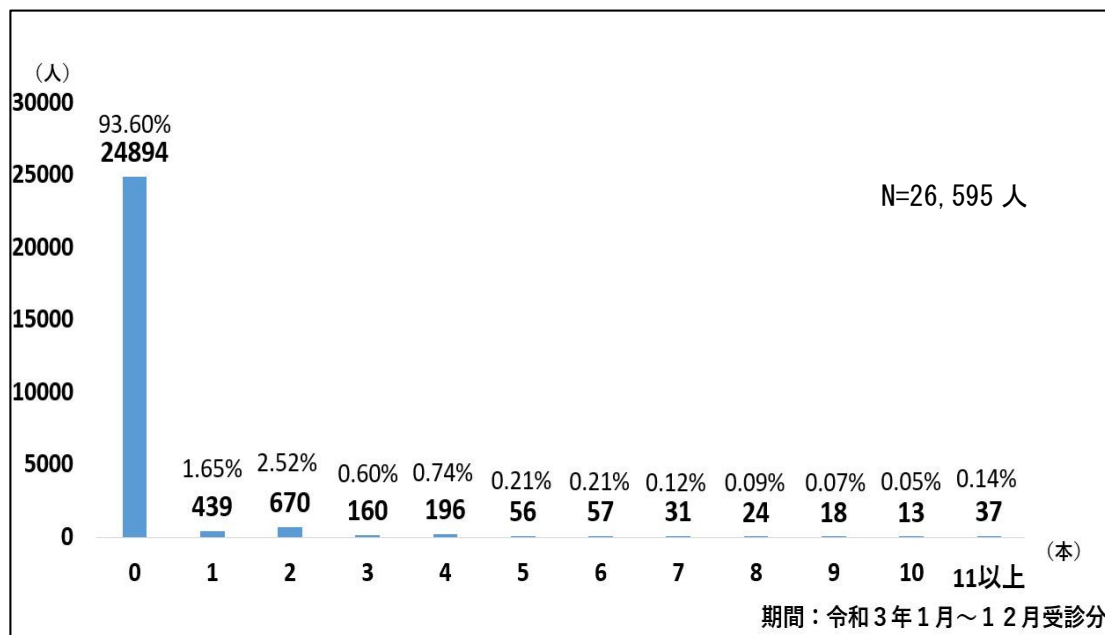
他方、むし歯のある者のうち、特に、未処置歯は早期に発見し、医療機関への受診が必要です。そこで、母子保健事業において各種健診及び相談も実施しています。

〈参考〉歯科が関わる母子保健事業

- ・母親教室、両親教室
- ・妊婦歯科健康診査
- ・妊産婦歯科相談
- ・乳幼児歯科相談
- ・4か月児乳幼児健康診査
- ・1歳6か月児乳幼児健康診査(歯科)
- ・1歳6か月児歯科事後指導(教室・経過歯科健診)
- ・3歳児乳幼児健康診査(歯科)

(2) う蝕状況について

令和3年(1月から12月)に乳幼児健康診査を受診した26,595人の内、未処置歯のあるものは合計1,701人でした。本数別には以下の通りとなります。



未処置歯がある者は、1本から2本が4%程度であり、以降、本数が増えるほど人数は減少しますが、本数の多い者については、養育環境も含めたより丁寧な支援が求められます。

2 多数歯う蝕への取組

(1) 歯科健診からの養育支援について

健診・相談を通じて、養育上の不安や心配ごとがある養育者については、歯科医師・歯科衛生士から保健師等との支援につなげています。また、養育者からの相談がなかったケースにおいても、食生活や口腔ケアの状況から、養育環境が気になる場合には、保健師等への情報共有を行い、養育支援につながるよう取り組んでいます。

(2) 乳幼児健康診査を通じた関わりについて

乳幼児健康診査において、健診終了後に多職種における事後カンファレンスを実施しています。歯科医師による診察状況も多職種間で確認し、う蝕が多い者については、養育環境、医師による診察、成長・発達等の状況から、各区の保健師・歯科衛生士等が連携して支援・受診につながるようかかわっています。

なお、3歳児乳幼児健康診査では約5人に1人が総合判定で要支援となっていますが、他方、未処置歯を有する者では、要支援となっている者が約4人に1人となっています。このため、未処置歯がある者に対しては、保健師のみならず、歯科衛生士等も継続的にフォローを行っています。

3 その他の取組

多数のう蝕を有する要因は、食習慣の乱れや、口腔ケアが不十分な場合など多岐にわたりますが、その一つとして、児童虐待が疑われる場合には、歯科医療機関をはじめ、関係機関から区役所や児童相談所に情報提供をお願いしています。

【別添 参照】「横浜市こども虐待防止ハンドブック」(令和4年度改訂版)(P28-29)

キ 歯科医療機関（執筆担当：横浜市歯科医師会）

○児童虐待防止における歯科医師の役割

歯科医師の仕事は診療をとおして、子どもたちに接する機会が大変多い職業です。その日々の診療の中で、清掃が十分にされておらず、重症化させてしまったむし歯をたくさんもち、虐待が疑われるような子どもを診る機会も少なくありません。しかし、児童相談所等に通告・相談するというところまではなかなかたどり着けないのが実情です。

不審な口腔内の状態や親子の様子から虐待のシグナルを知る機会が多い歯科医師に対し、子ども虐待防止に対する取り組みへの期待がますます高まっています。

コラム

「虐待かな？」と思っても…

【事例】口腔内に多数のう蝕（むし歯）のある児童が来院。

● 歯科医師 ここまで放っておいたのはなぜですか？

● 母親 以前通っていた歯科医院でむし歯進行止めの薬（フッ化ジアンミン銀）を塗ってもらいこれだと言われてきました。

● 歯科医師 噛み合わせも良くないので通っていただいて治しましょう。

● 母親 分かりました。



● 母親が言うには「前の歯科医師はこれから永久歯が生えてくるので、子どものうちは痛い思いはしなくても良いのでは？」ということでした。

● この場合は親子関係や服装など特に疑うところもなく、完治するまで通院されたためリコールで様子を見ることになりました。

● このようなケースもあるので、必ず「多数歯う蝕」＝「虐待」となるとは言えません。

● 大事なことはよく話を聞くことです。虐待をしている者には、必ずどこか「おかしい」と術者が感じる場所があります。

○歯科的所見から見る虐待

右側の画像では、左上の前歯の歯冠が半分折れています。このような子どもが来院された場合どう対処するのでしょうか。自分で転倒し歯を折ってしまったのかもしれないし、遊んでいてボールがぶつかって折れたのかもしれない。



歯冠が破折している

このようなケースは問診が非常に大切となります。

なぜこうなったか、つじつまが合わない説明や、子どもと保護者の関係の違和感、子どもの服装の違和感、何度治療をしても折れて来院を繰り返すなどの状況を総合的に診て判断する必要があります。

上記の状態を踏まえ、67ページの「歯科所見アセスメントシート」に該当する場合は、虐待を疑わなくても記載しておくことが重要です。また、当該部位のレントゲン写真や画像、図等の記録も残しておくが良いです。

○記載の要点

① 外傷部位

② 外傷の種類

③ 外傷の原因（事故か虐待か）

④ 外傷が発生した時間

⑤ 外傷の加害者

○「これ虐待かな?」と思ったら一人で考えずまず連絡を!

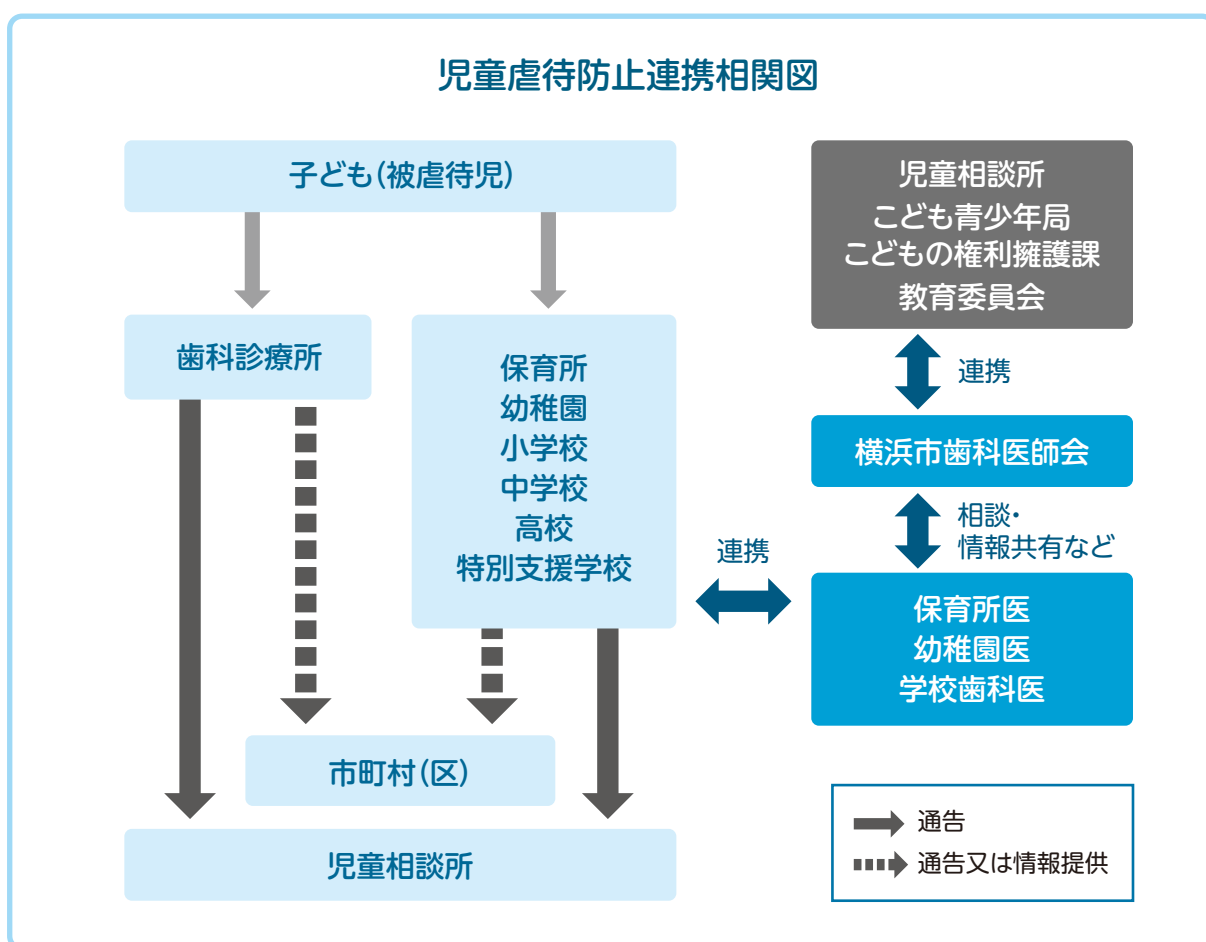
虐待のおそれや、区役所の支援が必要な「気になるお子さんや家庭」と判断した場合は、「こども家庭支援課こどもの権利擁護担当」に、子どもの安全が守られない虐待(疑いを含む)の可能性がある場合は「児童相談所」に連絡します。

虐待の疑いがあるが「通告」までは抵抗があるといった場合、子ども虐待を見つけた際に一番気をつけなければならないのが「一人でかかえない」ことです。

歯科医療の専門家集団である横浜市歯科医師会は、行政と連携してこの問題について取り組んでいます。

歯科所見に関するご相談や、「歯科所見アセスメントシート」(67ページ)の活用については横浜市歯科医師会にご連絡ください。

※情報の秘匿は厳守します。



横浜市歯科医師会	<p>T E L : 045-681-1553</p> <p>Eメール : yokohama@yda-yokoshi.or.jp</p>
-----------------	--

【参考文献】「児童虐待対応マニュアル 歯科医師の役割」 長崎県歯科医師会

【写真提供】 神奈川歯科大学大学院歯学研究科 木本 茂成 教授
 神奈川歯科大学大学院歯学研究科 山田 良広 教授

令和4年度「歯と口の健康週間」中央行事について

1 事業の趣旨・概要

毎年6月4日～10日の「歯と口の健康週間」において、歯の寿命を延ばし市民の健康保持増進に寄与することを目的として、横浜市歯と口の健康週間実行委員会（横浜市、横浜市歯科医師会 他）が主催となって、中央行事を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に続き特設サイトを立ち上げWEBにより開催しました。また、横浜市と包括連携協定を締結している良品計画と連携した取組も行いました。

2 実施内容

(1) 特設サイトによるWEB開催（令和4年6月1日～7月31日）

ア 市民参加型

もぐもぐタイムフォトコンテスト

ぬり絵チャレンジ in Yokohama

イ 歯みがき動画「PPAP2022～歯みがきバージョン～」

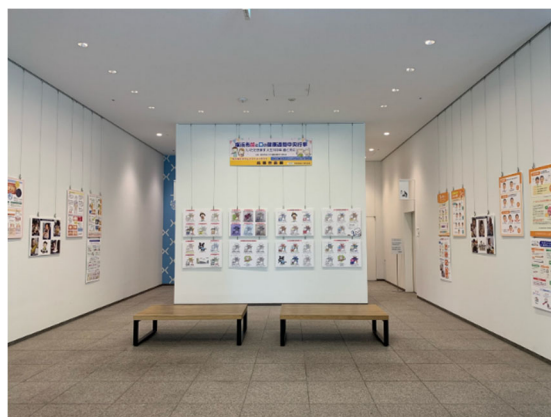
ウ コラム

歯医者さんの歯みがき事情、コロナ感染症と口腔内環境など



(2) 応募作品、啓発パネルの展示（令和4年7月20日～8月1日）

市庁舎1階にて、フォトコンテストの優秀作品（10点）、ぬり絵チャレンジの応募作品、歯周病・オーラルフレイル予防に関するパネル展示を行いました。

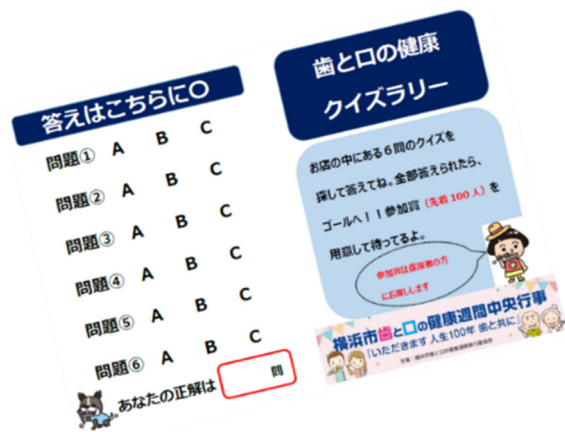


(3) 株式会社良品計画と連携した取組（令和4年7月23日）

無印良品港南台バーズ店での親子向けイベントにおいて、働き・子育て世代を対象に、店舗を利用した啓発を行い、商品に関連した歯と口の健康に関するクイズラリー（店内6か所に設置）、ゴール地点では、お口の能力測定を行いました。

【当日の様子】

- クイズラリー



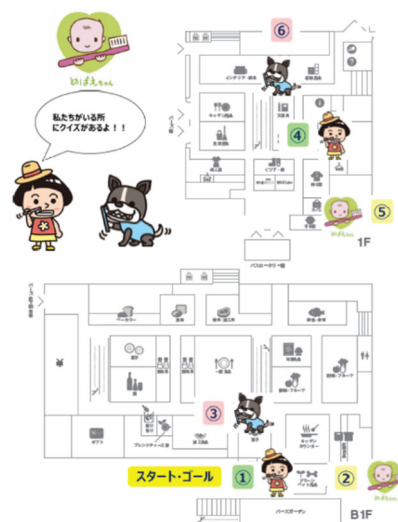
- お口の能力測定

やってみよう!!

お口の能力測定



パタカの発音測定が行えます!



今年も開催！「第4回 医療マンガ大賞」作品募集

新たに歯科分野もテーマに！



横浜市では、市民の皆様に医療を他人ごとではなく「自分ごと」と捉えていただけるよう、民間企業等との連携による手法で医療広報を実施する「医療の視点」プロジェクトに取り組んでいます。その一環で実施している「医療マンガ大賞」は、同じ出来事でも、立場によって捉え方が異なるという点に着目し、患者や医療従事者それぞれによる異なる視点から感情の起伏を含むマンガで描き、共感とともに医療に関心を向けてもらうことを目的としています。

今回は「文化庁メディア芸術祭」の協賛事業となり、注目を集めるマンガ賞です。

医療マンガ大賞 第四回
IRY ● M A N G A T A I S H ●

漫画『ちはやふる』の作者、
マンガ家の末次由紀先生
が審査員に！



1 実施概要と募集エピソード

- (1) 実施期間 : 作品応募受付は、10月7日(金)～11月6日(日)。結果は12月中旬発表予定
- (2) 応募対象者 : マンガは誰でも応募できます。
- (3) 募集エピソード : 4テーマ8部門 ※原作エピソードをもとに、マンガを描いていただきます。

エピソード	部門(視点ごと)		協力法人/原作、副賞提供等
看取りが近づいた時に	ケアマネジャー視点	患者家族視点	朝日新聞
循環器病対策 早期受診の大切さ	研修医視点	患者家族視点	日経メディカル及び 日本循環器学会
慢性期医療の現場を支える人々	医師視点	管理栄養士視点	メディカルノート及び 日本慢性期医療協会
歯科受診のタイミング	歯科衛生士視点	患者視点	クインテッセンス出版

詳細な応募方法は以下の URL 又は 2次元コードから確認してください。

医療マンガ大賞ウェブサイト URL : <https://iryo-manga.city.yokohama.lg.jp/>



2 企画展

株式会社良品計画の協力により、無印良品 Colette・Mare みなとみらいにて、企画展を実施します。医療マンガ大賞の取組紹介や、感染症対策を実施の上、マンガ作品を雑誌形式で読めるコーナーを設置しています。視点の違いをぜひ体感してみてください。

期間：10月7日(金)から10月16日(日)

【協定】

横浜市と株式会社良品計画による
“感じ良い暮らしと社会”の実現に向けた包括連携協定
(令和3年5月12日締結)

【参考】<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/kohokocho/press/seisaku/2021/0512ryouhinkeikaku.html>

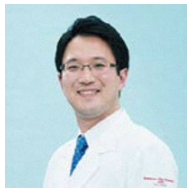


(裏面あり)

3 審査員ご紹介（五十音順）／開催に向けたコメント

応募作品の審査は、最前線で活躍するマンガ家や編集者、医療従事者等が行います。

※各審査員の略歴は医療マンガ大賞のホームページでご確認いただけます。



井上 祥／(株)メディカルノート代表取締役・共同創業者（医師）

ともすれば難しくなりがちな医療の情報を分かりやすく伝えるための貴重なツールである「医療マンガ」、適切な受診行動と早期発見によって患者さんが救われたこともきっとあるでしょう。今年で4回目になる医療マンガ大賞、さらに多様なテーマが展開されています。皆様の力作を拝読させていただくことを楽しみにしています。

NEW !



川原 綾夏／横浜市歯科医師会会員（歯科医師）

子供の頃から、そして今もマンガが好きです。今回、歯科部門の審査員として医療マンガ大賞に関わらせていただけて大変、光栄です。歯科は、国民の皆様にとって身近な診療科です。身近だからこそ、様々な表現ができるのではないかと楽しみにしております。

ゲスト審査員



こしの りょう（マンガ家）

今年で4回目！！
一昨年からコロナ禍の病院、医療者の取材し作品にしてきましたが、患者さんとの視点の違いもそうですが、受け取る情報の違いをとっても感じました。この機会に「漫画を楽しく描く、読む」ことでこの差が少しでも埋まる起点になればと思います！ご応募お待ちしております！



佐渡島 庸平／(株)コルク代表取締役（編集者）

医療マンガ大賞は、毎年すごくレベルが高くて、審査していても読みがいがあります。今年もどんな作品が集まってくるのか楽しみにしています！

NEW !



末次 由紀（マンガ家）

想像するには経験が足りないけれど、いざ当事者になってからだと何もかも遅すぎる…病気に直面して慌ててしまうのは多くの皆さんが抱く悩みなのではないでしょうか。誰かの経験を借りる、想像を借りる、それに触れる機会を得て、覚悟を持って前進する…「医療マンガ大賞」でそんな作品に出会えることがとても楽しみです。



筑丸 志津子／横浜市医師会常任理事（医師）

第1回目から数多くの応募作品を拝見させていただきましたが、エピソードが同じでも、一つ一つの作品に、それぞれの作家さんの想いが表現されていることに、毎回感銘を受けています。そして、医師としても「伝える」ことについて考えを巡らせています。今年も想いのこもった沢山の作品に出会えることに、今からワクワクしています。



山本 健人／SNS 医療のカタチ（医師）

何となく近寄りたが、何やら小難しい、できたら避けて通りたい——。多くの人が「医療」に対してそんな思いを抱いています。医療がもっと分かりやすくてなじみ深く、敷居の低いものになるため、漫画の果たす役割はとて大きいと感じています。今年も、漫画にしかできないことがあると信じて。応援しています。



城 博俊（横浜市副市長）

多くの方々のご支援とご協力により、「医療マンガ大賞」も第4回目を迎えることができ、大変感謝しております。多彩な表現方法によって描かれる「マンガ」は、時に人の心に響き、医療にまつわるテーマを身近なものとして感じさせてくれる力があります。今回も、沢山の作品が読めることを、心待ちにしています。

4 応援サポーターのご紹介

「医療マンガ大賞」を応援していただいている方々からメッセージをいただきました。歯科医療を題材にしたマンガ『デンタルクエスト』（協力：日本歯科医師会）の原作者であるセキアトム先生をはじめ、ウェブサイトでは**全 11 名のコメント**を紹介しています。ぜひご覧ください。

<セキアトム先生 コメント>

歯科医療マンガを書き始めたのは「マンガの力を貸してほしい」と言われたのがきっかけでした。
マンガは届きます。「他人ゴト」を「自分ゴト」にする力があります。
その力の源はフィクションの中にある“ホントウ”だと、私は思います。
医療マンガ大賞を通して、あなたの“ホントウ”を読者に届けてください。



応援サポーター（11名、五十音順）

青鹿 ユウ先生（マンガ家）、大須賀 覚先生（医師）、かげさん（看護師・イラストレーター）、厚生労働省医政局長、坂本 昌彦先生（医師）、佐々木 俊尚さん（作家・ジャーナリスト）、さーたり先生（医師・マンガ家）、島袋 全優先生（マンガ家）、シャープさん（シャープ株式会社公式 Twitter アカウント）、セキアトム先生（マンガ原作者）、矢方 美紀さん（タレント・声優）

5 協力法人のご紹介（五十音順）

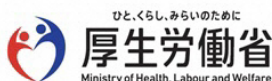
医療に関する情報発信を日頃より行う企業等に、エピソード作成や入賞者へのインセンティブ提供、情報拡散などのご協力をいただいています。

朝日新聞

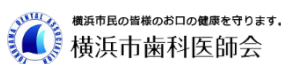


泉民の健口ささえて110年
公益社団法人 神奈川県歯科医師会

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本



日本歯科医師会
人生をもっと楽しくもっと豊かに



株式会社
良品計画

(参考) 医療の視点



「医療への視点が少し変わることで、異なる気づきが得られ、行動につながる」をコンセプトに平成30年10月から取組をスタートしています。民間企業等との連携や、市民の皆様に関心事にフォーカスすることで、より印象に残りやすく、伝わりやすい広報に様々な切り口で取り組んでいます。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/iryonoshiten/iryonoshiten.html>

お問合せ先

医療局医療政策課情報企画担当課長 新堀 大吾 Tel 045-671-4813